

牛久：学校周辺に見る自然

第61号

ひたち野みずべ公園(ひたち野うしく小)

2021年3月16日発行

< 成虫^{せいちゆう}で越冬^{えっとう}する虫たち >

ひたち野うしく小4年生と歩いた、冬のみずべ公園。今回は、成虫^{せいちゆう}で冬越^{ふゆご}しする虫たちです。



根もと^つに積もった落ち葉の中から、成虫^{せいちゆう}で冬越^{ふゆご}していたクビキリギスを見つけました。

多くはなく、また見つかりにくいですが、成虫^{せいちゆう}で越冬^{えっとう}し、春になるとまっ先に活動を始める虫たちがいます。林に入ると、さっそく木の根もとにつもった落ち葉の中から、越冬中^{えっとう}のクビキリギスを見つけてくれましたね。おてがらです。クビキリギスはキリギリスに近いなかまで雑食^{ざっしょく}ですが、冬の間は何も食わず、落ち葉の中や草の根もとなどでじっとしています。



シラカシの葉のうらで、じっとして冬を越すウラギンシジミの成虫。

こちらにも、成虫越冬する昆虫がいました。ウラギンシジミです。シラカシやヒサカキなど、常緑樹の葉のうらでじっとしています。これらは、じっとして、エネルギー消費をおさえながら、厳しい冬が通りすぎるのを待っているのです。中には、冬を越せず落ちてしまうものもあります。



その他、あまり注目されませんが、幹と名札の間には、クモやワラジムシ、テントウ虫やゴキブリなどがもぐりこんでいることも多いです。ぜひ、探してみましよう。それにしても、成虫のままじっとがまんして、春まっ先に活動を始めようなんて、成虫ってすごい！

【理科支援員：宮内】

幹と名札の間で、じっとして冬を越すクモやナミテントウ、ワラジムシなど。